



弘前地区管内でのふじの発芽日は、早い所で3/31と昨年並みの早さとなっております。気象庁の予報では今後、気温が高い予測となっております。りんごの生態も今後の気象状況によっては、早くなることが予想されますので、計画的に作業をすすめていきましょう。

黒星病対策

- ・昨年の黒星病子のう胞子1回目の飛散ピークは4月20～21日(3,832個)であった。
- ・4/2現在、胞子の飛散予想は、R1年産並みの4月中旬頃だと考えられます。
- 薬剤散布では、4月18～19日頃に展葉1週間頃の薬剤散布が予想されます。
- ※園地の生態に合わせて、薬剤散布を行いましょう。
- また、越冬落葉の除去または、鋤込みによる耕種的防除を行い、初期発生量軽減に努めましょう。
- ・消雪50%からの日平均気温を積算して、180℃に到達後一定量の降雨があると黒星病の子のう胞子が飛散すると考えられています。

展葉初期
(葉が1～2枚展葉したとき)



展葉1週間頃散布適期
(葉が4～5枚展葉したとき)



※今後の天候によっては散布適期が変わることがあります。りんごの生態にあわせて適期防除に努めましょう。

ふじの生態(予想)

4/2現在 ()内は予想日です。

調査地点	発芽日	芽だし当時	展葉日	展葉1週間後頃薬剤散布(1回目)	開花直前薬剤散布(2回目)	開花日
薬師堂	3/31	(4/4)	(4/8)	4/15	4/25	(4/28)
狼森	(4/4)	(4/8)	(4/12)	4/19	4/29	(5/2)
小沢	(4/4)	(4/8)	(4/12)	4/19	4/29	(5/2)
りんご研究所(黒石)	3/30	—				
研究所平年	4/9	—	4/19			5/7

・気象台によりますと、4月26日までの平均気温は高い確率が60%となっており、弘前地区管内のふじの生態は、ほぼ昨年並みとなる予想となっております。今後の気象状況に注意しましょう。

薬剤散布

回数	散布量	散布時期	対象病害虫	基準薬剤	1000L当りの薬量	防除上の注意
1	300L /10a	ふじの展葉1週間後頃	黒星病・モニリア病 ハマキムシ類 リンゴハダニ キンモン・ギンモン カイガラムシ	1 精製マシン油 200倍 2 ダーゾバンDF 3000倍 3 アプロードF 1000倍 4 ベフラン 1000倍	5L 334g 1L 1L	黒星病、モニリア病防除の重要時期ですので、10日以内の散布を心がけましょう。 黒星病対策として、散布予定日に降雨が予想される場合は、降雨前に散布しましょう。
2	320L /10a	ふじの開花直前	黒星病 コカクモンハマキ ミダレカクモンハマキ	1 カナメ(F) 4000倍 2 バイオマックス 2000倍	250cc 500g	

いよいよ薬剤散布が始まります！農作業中の事故には十分気をつけましょう！